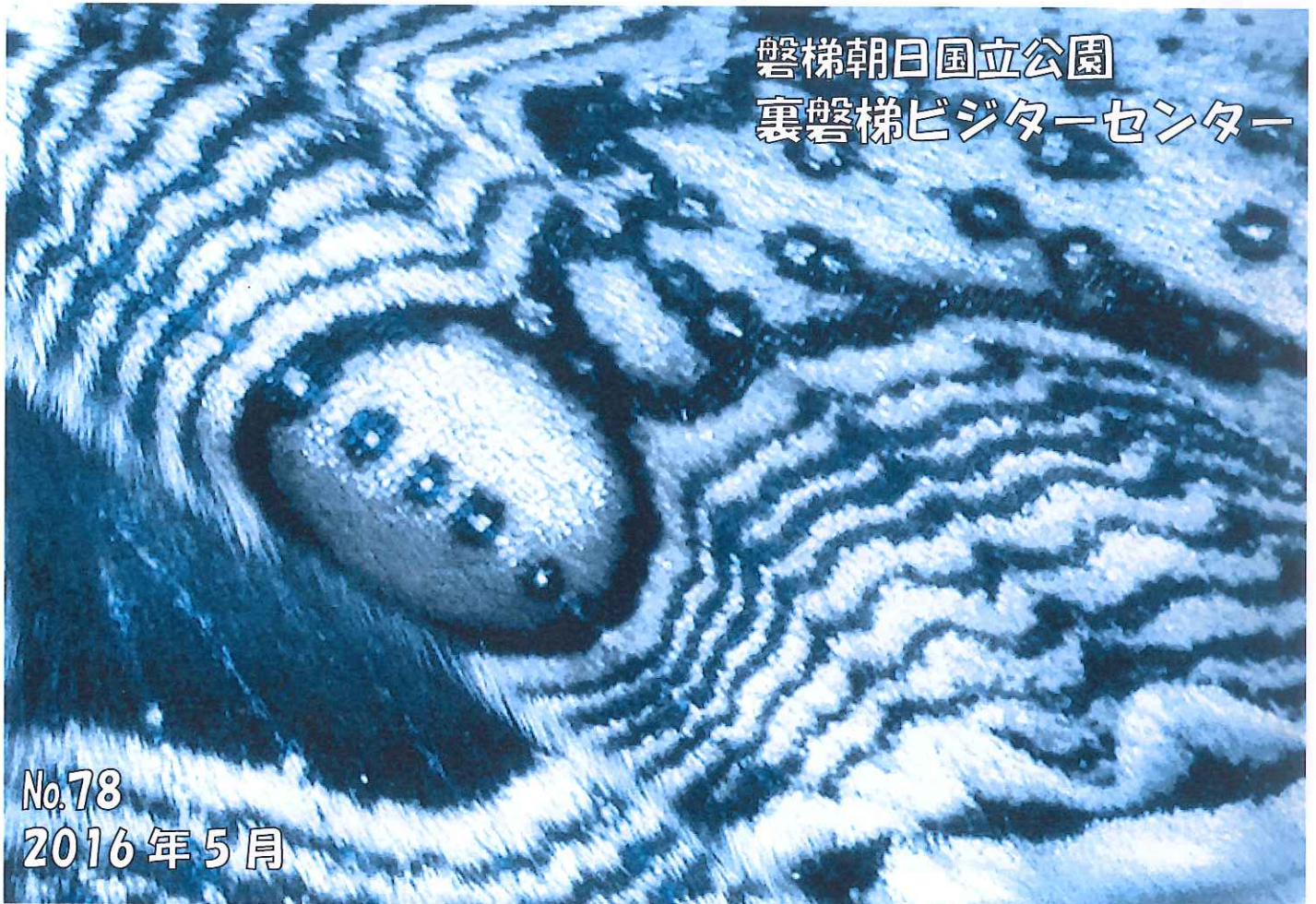


裏磐梯だより



磐梯朝日国立公園
裏磐梯ビジターセンター



No.78
2016年5月

小さな世界 ⑬

寒さが緩むと同時に、あっという間に若葉が茂り、裏磐梯にもようやく春が訪れました。道端で偶然に懐かしい友人とすれ違うような、生きものとの出会いにもわくわくする季節ですが、年に一度、春だけに現れる生きものたちに会いに行きたくなります。写真の幾何学模様の持ち主も、そんな春だけに見られる生きものの一種です。正体は、「イボタガ」という10cmほどの大型の蛾。イボタガは、三大春蛾の一種とも称され、主にイボタノキという樹木の葉を食べることから、イボタガという名前がついています。なんといっても、この翅の模様の緻密さに、複雑な造形美を感じます。そして、黄金色の地に黒のラインという渋い色味が、ゴージャスな雰囲気をも漂わせています。この春は、郊外の灯りに引き寄せられる蛾の影を追ってみるのはいかがでしょう？

（「イボタガの翅」 2016年5月14日）

20 年 月 日
来館記念スタンプをどうぞ